

ほっと story

ある日のまとめ③

11月と1月も開催していましたが、
久しぶりに2月22日(木)の様子をまとめました。

☆2/18(日)にぬくぬくで開催された親子の勉強会に参加した保護者の報告からはじまりました。

親が明るく、プラスのエネルギーや笑いを、子に送り続けることが良いとのことでした。

「今」子が抱えている苦しさは「今」親にはわからない理由があるのかも。

決して責めることはせず、栄養ある食事をとりながら楽しい雑談をすることが良い。

- 時間が経ってから、子ども自身が過去を振り返り、その時の気持ちを話してくれることがある。
- 子がしていることに口を挟まず、未来を不安に思うことをせず、
どうかやっていけると信じて任せるしかない。
- SNSに縛られ、同調圧力の中ですごさなければならない今の子供たちは
親世代の学生時代よりも 小さなルールも多く窮屈な学生生活を送っているように思う。

☆不登校特例校が「学びの多様化学校」と名称が変わり、まさに学校の在り方や
不登校児の支援が変わっていく時にきているようです。

☆3/17(日)には 江戸川区と教育委員会も後援している特別支援学級の学校進路フェアが
行われます。江戸川区初の試みで、区内の小中学校にパンフレットを配布予定です。

4月からは月に1回 第1日曜日の午前中に 定期開催をするように考えています。
場所をぬくぬくからタワーホール船堀に変え、区内在住の皆さんに気軽に寄っていただけるよ
うになるかと思っています。顔を合わせ、悩みを話し、痛みを分け合うことで、子どもの現状
は変わらなくても、保護者の方のエネルギーは必ずいっぱいになるはずです。
不登校に詳しいカウンセラーも参加予定です。

「子を支えるために、まずは親が元気でいられるように」というコンセプトのもと、
「ほっとできる場所があったら」と考え、作られた会です。
ひとりで悩んでいる方がいらっしゃいましたら
是非”らいおんはーと(090-3575-4279)”にお問い合わせください。